

塩竈市議会だより

平成26年 12月定例会号

- 議案審議の概要 P 2
- 常任委員長報告、請願、意見書 P 3
- 討論 P 4
- 市政に対する一般質問 P 5～9
- 議案等賛否一覧表 P 10

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(364)1214 Feb.2015 (平成27年2月)
 ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/shise/shiogamashi/index.html>

塩竈市成人式



定例会のあらまし

平成26年12月定例会は、12月8日から18日までの11日間の会期で開催されました。初日の本会議では、議長辞職勧告の動議が出され、質疑・討論後、可決されました。また、請願については、所管の常任委員会にそれぞれ付託されました。その後、市長より提出議案の説明を受け、総括質疑後、所管の常任委員会にそれぞれ付託されました。

各常任委員会は3日間開催され、付託された議案の審査を行いました。

本会議2日目と3日目は、8名の議員が市政に対する一般質問を行い、市当局の見解をいただきました。

定例会最終日には、各常任委員長から審査結果の報告を受け、議案29件を可決しました。請願については、2件を採択、3件を閉会中の継続審査としました。また、議員提出議案2件を即日審議の上、原案のとおり可決し、閉会しました。

(議案の件名と審議結果は10ページ)

定例会会議日程

本会議	8日	会期の決定、諸般の報告、請願付託、議案説明、総括質疑、議案付託
委員会	10日	総務教育常任委員会
委員会	11日	民生常任委員会
委員会	12日	産業建設常任委員会
本会議	15日	市政に対する一般質問
本会議	16日	市政に対する一般質問
委員会	17日	議会運営委員会
本会議	18日	各常任委員会委員長報告、議案審議及び採決、請願審議及び採決、議員提出議案審議及び採決

東日本大震災の復興交付金事業費等 補正予算59億2431万円可決

12月定例会の一般会計・特別会計の補正予算額は、59億2431万円で、補正後の予算総額は741億7869万円となりました。

一般会計にかかる補正予算は、67億7475万円を追加計上し、総額450億1985万円となりました。主なものとしましては、第10回塩竈市復興交付金事業計画の交付額決定に伴う基金積立金や「海岸通地区震災復興市街地再開発事業費」などが計上されました。債務負担行為は、

本庁舎電話機器の賃借料など6件が追加され、また、災害公営住宅の清水沢地区、北浜地区の整備事業費の増額及び期間の変更が計上されました。特別会計にかかる補正予算は、下水道事業特別会計では、歳入歳出同額の15億2200万円を減額し、債務負担行為については、「藤倉・北浜地区下水道事業」5億2000万円が追加され、また、越の浦地区下水道事業の限度額を10億円増額変更し、総額を27



新築工事が議決された塩竈市魚市場

億8000万円としました。さらに、地方債の限度額も事業費の変更に伴い減額変更しました。介護保険事業特別会計は、介護保険事業特別会計は、保険勘定では浦戸地区に開設する包括支援センターの準備のため、117万円を追加し、総額を49億1539万円とし、介護サービス事業勘定でも浦戸地区包括支援センターに設置するケアプラン作成のための電算機器整備費として、33万円を追加し、歳入歳出それぞれ総額を1223万円とす

る補正が計上されました。北浜地区復興土地地区画整理事業特別会計では移転補償にかかる事業費を3億7516万円増額し、総額12億5716万円となりました。藤倉地区復興土地地区画整理事業特別会計では移転補償にかかる事業費を2億9490万円増額し、総額8億8990万円とする補正が計上されました。

条例については、放課後児童クラブの利用対象児童を小学6年生まで拡大し、開設時間を延長するための「塩竈市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例」や国民健康保険税の算定方式を変更し、資産割の廃止等、平均3.3%を引き下げる「塩竈市国民健康保険条例の一部を改正する条例」など13件が可決されました。

また、塩竈市魚市場高度衛生管理型荷さばき所A棟及び補完施設（C棟）新築工事など工事請負契約関連議案5件、錦町地区災害公営住宅等取得する「財産の取得について」、塩竈市スポーツ施設の指定管理者の指定など6件が可決されました。

議長辞職勧告動議

定例会初日、志賀勝利議員から佐藤英治議長に対する辞職勧告動議が提出されました。

動議の理由として、二度も議長辞職勧告案が賛成多数で議決されたにもかかわらず、議長職を辞することなく、反省の様子も見えず、その言動は憂慮すべき状態となつていくとの趣旨説明がありました。浅野敏江議員より、今最優先して議会が取り組むべきことは東日本大震災からの復興であり、議会の対立を生み議事運営に支障を来す行為は、到底許容できるものではないことから議長辞職を求める賛成討論があり、採決の結果、議長辞職勧告動議は全会一致で可決されました。

常任委員会傍聴のお知らせ

常任委員会は、申込み手続を行うことにより傍聴することができま

す。一般傍聴人の定員は7人となっております。傍聴人の方は、「委員会傍聴に関する留意事項」を厳守して傍聴していただくこととなります。申込み手続は次のとおりです。

記

- 受付時間は、委員会開会時刻の1時間前から30分間
- 受付場所は、市役所議会事務局（3階）

※申込者が定員を上回る場合は抽選となります。

詳しくは議会事務局議事調査係までご連絡ください。

電話 364-11214
まで

年賀状などの挨拶禁止について

公職選挙法の規定により、議員は選挙区内で、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状を出すことが禁止されております。

市民の皆様のご理解をお願いいたします。

塩竈市議会議員一同



常任委員長

報告

12月定例会において、議案29件が各常任委員会に付託され、慎重に審査が行われました。

委員長報告の要旨は次のとおりです。



総務教育常任委員会

委員長 伊勢由典

◎議案第93号、第97号、第102号、第110号、第112号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

「一般会計補正予算要望意見」

○新年度から電話交換機及び交換台の更新を機に、内線電話方式から、直通電話方式に移行するものであるが、移行により、混乱が生じないよう周知徹底を図られ、利用者への、丁寧な対応に努められた。

○学校給食調理員の退職等に

伴い、今後、調理業務の一部委託を実施するものであるが、衛生管理の徹底により、安心・安全な給食を安定的に提供できるように、努力されたい。

「工事請負契約の締結についての要望意見」

○津波避難デッキ整備工事については、工事の迅速化を図られたい。また、完成後、災害時において市民や観光客が速やかに避難できるように、わかりやすい表示を行われるなど、その周知に努められたい。

「塩竈市スポーツ施設の指定管理者の指定についての要望意見」

○本市のスポーツ施設は、様々な方々が集い、利用する施設であることから、指定管理者との連携のもと、快適な利用環境の整備に努められたい。また、塩竈市体育館及び温水プール以外のスポーツ施設の管理のあり方についても、今後検討を深められたい。



民生常任委員会

委員長 西村勝男

◎議案第84号、第89号、第92号、第94号、第97号、第99号は、原案のとおり可決すべき

ものと決しました。「塩竈市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例」についての要望意見」

○放課後児童支援員の設置については、児童を安心して預けられるよう、有資格者である支援員を確保し、指導監督を徹底されるとともに、支援員の待遇についても、検討を深められ、放課後児童健全育成事業の充実に努められたい。

「塩竈市地域包括支援センターの事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例」についての要望意見」

○地域特性を生かしながら、医療と介護の連携のもと、今後も有資格者の適切な配置と人員の確保について検討を深められ、支援業務の充実とともに、きめ細かな対応ができるよう努められたい。

「一般会計補正予算要望意見」

○がん検診については、市民の命と健康を守るため、関係機関と連携の上、市民が受診しやすい検診のあり方について検討を深められ、受診率の向上になお一層努められたい。○災害公営住宅入居支援事業については、本市の災害公営住宅等への入居世帯に移転費用を支援するものであるが、

既に移転を完了している世帯もあることから、迅速な事務手続きによる早急な支給ができるよう努められたい。



産業建設常任委員会

委員長 小野絹子

◎議案第90号、第91号、第97号、第98号、第100号、第101号、第111号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

「塩竈市下水道条例の一部を改正する条例」についての要望意見」

○一般汚水の従量料金を引き下げ、使用者の負担軽減を図ろうとするものであるが、今後も使用料の対象経費や実績等を踏まえ、的確な将来計画に基づく適正な料金体系の構築に努力されたい。

「一般会計補正予算要望意見」

○公園遊具撤去事業については、老朽化した遊具を撤去し、事故を未然に防止するものであるが、市内を対象とした遊具等の修繕計画の策定による、計画的な修繕に取り組み、今後も現状確認の徹底による安全確保に努められたい。

請願

審議結果は次のとおりです。

○採択したもの
▼重度障がい者移送費等助成事業の制度改善を求める請願
▼東日本大震災被災者の医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免を被災市町村の負担によらず継続するための財政措置を求める請願

○閉会中の継続審査としたもの
▼「集团的自衛権行使容認の閣議決定撤回と関連法の立法措置を行わないこと」を求める請願
▼子ども・子育て支援制度実施にあたり全ての子どもへの権利が保障される取組みを求める請願

▼しおがま・みなと復興市場の仮設店舗の移設を求める請願

意見書

今定例会で可決された意見書は次のとおりです。

▼東日本大震災復旧・復興に係る事業期間延長を求める意見書

▼生活再建に至らない東日本大震災被災者に対する医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免措置に対する財政支援を求める意見書



12月18日の本会議において、議案第84号と第105号について反対・賛成の討論が行われました。

その概要は次のとおりです。

議案第84号 塩竈市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例
議案第105号 工事請負契約の締結について

賛成討論の概要

平成27年度に放課後児童クラブ利用を希望する保護者に対するアンケートは、4年生以上の希望者が6人と多く、時間延長においても午後6時半までを希望する保護者は71名、26%に上る。

条例案では支援員は、1クラブにつき2名以上の配置を規定しており、そのうち1名は保育士、社会福祉士、教員免許等を有する資格者とし、子供の育成に責任ある立場の支援員を配置している。

反対討論の概要

条例案は学童保育対象年齢を小学6年生まで引き上げや開設時間を延長など評価すべき点もある。

対象年齢の引き上げに伴う体制で、放課後児童支援員は子供の発達や成長を科学的にとらえ、保育・教育環境を整え、その家庭環境にも配慮し、子供や保護者の気持ちを共感的に受けとめ、子供の意欲を高めていく専門性が求められる。資格者2名で実施すべきである。

支援員の処遇、雇用形態は月々土曜日までのうち4、5日のシフト制、賃金は支援員

これまでも放課後児童クラブの支援員として資格を有していない方も多く従事しており、子供たちには、なれ親しんだ支援員が今後も対応する安心にもつながる。

子供の育成に専門性を加え、元保育士等も活躍の場を開き、これまでも子供たちとかかわってきた支援員の方もそのまま働けることが担保された。保護者が安心して子供を預けられ、子供たちも安全に過ごせる条例案に賛成である。
 津波復興拠点整備事業は、

時給1000円、補助員同800円としている。民生常任委員会では、賃金が余りに低い、引き上げるべきではないかという意見が出された。学童保育は、放課後を専門的な知識や経験のある職員で保育することが求められる。放課後は子供たちの生活の場でもあることから保育される子供の人権にもかかわる。

国の基準で学童保育を財政の効率だけで考えるべきではなく、支援員の役割にふさわしい待遇を求める。

工事請負契約の締結については、9月議会で避難デッキ工事の債務負担行為の設定に

観光客などが津波発生時に安全に一時避難できるようにマリゲート塩釜からの津波避難デッキを整備し命を救う有効かつ重要なものである。

平常時には、JR仙石線本塩釜駅付近からマリゲートまで交通量の多い路線の安全対策にも寄与し、地元の方々の利便性向上のみならず、多くの観光客にも活用いただけ「交流の橋渡し」となる施設である。

仮設店舗しおがま・みなと復興市場は使用期間の延長を

反対をしてきた。港町地区津波復興拠点整備事業は、総事業費20億6080万円。マリゲート塩釜の2階から大型店駐車場まで通ずる有効幅員4メートル、全長372メートルの避難歩道橋を建設するものである。

市民や地元町内会からは、いざというとき、わざわざマリゲートまで来て上がるのか。地域住民が避難路として使用することは海側へ逃げる危険を伴う。今必要なのは避難ビルや避難タワーで避難デッキは必要ない。税金の無駄遣いだという声が出されている。以上により反対する。

してきた。さらなる期間延長の要望が提出され、市では整備工事の施工者と工程等の協議を行い、期限を可能な限り延長できるように最大限の努力をしてきた。

仮設店舗の本設移行が円滑に行われるよう心から念願しつつ災害時に多くの人命を救うだけではなく、観光を中心とした交流人口拡大への一助となるなど、さまざま効果が期待できる避難デッキの案件に賛成する。

市議会報告会

平成26年11月22日(土)、29日(土)の午後2時から、ふれあいエスパ塩竈と塩釜ガス体育館を会場に「第3回塩竈市議会報告会」を開催しました。

塩竈市議会基本条例に基づく報告会で今回から2班に分かれての開催となり、合計73名の皆様にご来場いただきました。

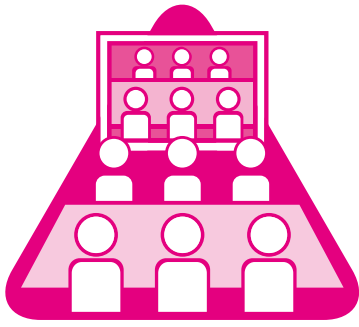
お忙しい中でのご参加、心より感謝申し上げます。

(内容)

- ・平成26年定例会の報告
- ・東日本大震災復旧・復興調査特別委員会の報告
- ・復興状況の報告等

この内容について各担当議員が報告を行い、参加した皆様からも多くの意見が出されました。

なお、詳しい内容につきましては、「しおがま市議会だより(平成26年議会報告会第3号「別紙」)」をご覧ください。



市政に対する 一般質問

市政に対する一般質問は、12月15日、16日の2日間に8人の議員が行いました。ここでは質問の中から2つ取り上げて、その要旨を掲載しています。なお、各議員が行った質問の項目も掲載しています。



さいせいクラブ

田中徳寿

塩釜港の整備は

議員 復旧から復興に向かうに当たり、我が塩竈市の富市戦略は、まちの先人たちが港に埠頭を築き航路の拠点としたことと、天然の良港であることが本市を繁栄させてきたと考える。

災害復旧工事が順調に進められ、平成24年10月に、国際拠点港湾仙台塩釜港の一体化があり、今年度から貞山埠頭の大形岸壁改良が動き始めたようであるが、今後、塩釜港区が産業の振興や地域経済の活性化に果たすべき役割と、どのような整備が必要なのか、見解を伺いたい。

市長 塩釜港は地域産業支援港湾と位置づけられ、水産加工業等の原材料を初めとした内貿バラ荷貨物等の輸送拠点、東北のエネルギー供給基地、松島の玄関口、プレジャーボート基地、広域海上防災拠点

等多くの役割を有している。塩釜港の港湾整備については、港を支える基盤となる貨物をしっかりと短時間で、安く取り扱うことのできる埠頭整備が不可欠である。貞山地区では水深マイナスイナス9メートルの岸壁整備に取り組んでいくが、早期に整備ができるよう国・県に要望していきたい。

道路整備は

議員 東日本大震災から3年9か月が過ぎても、本市のメイン地区である本塩釜駅前地区や中の島地区のスーパードライブの市道の復旧整備が遅れて



新富町貞山通線（市道）

おり、その早急な整備が必要と考えるが、見解を伺いたい。また、先の産業建設常任委員協議会で示されているが、市民からの要望、さらには市職員によるパトロールにより明らかとなった未整備箇所に対応について伺いたい。

市長 本塩釜駅前北側の市道は、災害復旧工事に認められなかったが、第10回復興交付金事業採択で一括配分を受けた効果促進事業における対応は可能との見解が示された。今後整備計画を策定し、早期着工を図っていきたい。また、

中の島のスーパー周辺の道路整備は、下水道の管路整備をしないと路面掘削ができない状況にあったが、雨水排水計画のめどが立ったことから、道路整備について、できるだけ早期に着工してまいりたい。道路の維持管理については、安全性を確保しながら、傷みの少ないうちに対策を行い長持ちをさせる予防保全型の維持管理に転換を図り、予算の有効活用を図っていきたい。

その他の質問項目

- ① 第三次行財政改革推進計画
- ② しおがまサービスマインド

など

被災後のDV・虐待等の現状と対策は



公明党

浅野敏江

議員 東日本大震災から4年目の師走を迎え、未だ多くの方が厳しい生活環境を余儀なくされている。被災後、避難所や仮設住宅等の急激な住環境の変化や失業・職場の变化等で精神的に立ち直れない被災者が、家族に対して暴力や暴言を繰り返し、家庭崩壊を招いている深刻な事例も聞かれています。本市におけるDV・虐待等の現状と対策を伺いたい。特に高齢者に対する身体的精神的虐待の状況について伺いたい。また、虐待等に係る支援団体との連携を図り、子どもの人権と本来の力を子ども自身が引き出す「子どもへの暴力防止(CAP)」のプログラムを開催してはどうか。

市長 DV・虐待等については、阪神・淡路大震災の経験から数年後の急増が懸念されたが、本市では若干の増減を繰り返

し、現在は、やや増加の傾向にある。高齢者対策については、「虐待防止対応マニュアル」を作成し、関係機関との連携を図りながら、相談者の心に寄り添った適切な対応を行っている。

健康福祉部長 CAPについて、今後その実現等に向けて教育委員会とも相談していく。

要保護児童・生徒に対する修学旅行費扶助は

議員 学校教育法には「経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して市町村は必要な援助を与えなければならない」とある



教育委員会

る。修学旅行の費用は、「就学援助費受給申請書」を教育委員会に提出し、限度額はありますが、交通費・宿泊費・見学料は、行事終了後に支給される。生活保護世帯は、毎月の修学旅行の積立金を捻出するのも大変苦慮する場合があります。岡山県総社市や神奈川県相模原市では、生活保護の教育扶助を受給している保護者に対して「前払い制度」を創設している。本市においても、修学旅行費用の立て替えが不要な前払い制度を創出してはどうか。

教育長 本市の就学援助制度では、経済的な理由によって就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、修学旅行費及び医療費の一部を支給している。実績により、支給された修学旅行費を業者へ直接支払うことも可能であり、保護者ともよく相談し、適切に対応する。来年度から事務の共同実施が始まるので、全ての学校が同じ対応ができるよう取り組んでいく。

- ① 貧困の連鎖を断ち切るための学習支援を
- ② 大雨・洪水・高潮対策など



公明党

小野 幸男

危険ドラッグの対応は

議員 危険ドラッグを吸引し、呼吸困難を起こしたり死亡する事件が相次いでいる。危険ドラッグの使用による幻想や興奮作用が原因とみられる重大事故がたびたび報道される

など深刻な社会問題となっている。県内においても危険ドラッグが原因と思われる交通事故が発生し、死亡した事例もあると聞いている。危険ドラッグは気軽に手を出しやすいと思われ、若い人を中心に乱用が広がっている。本市の学校教育における意識啓発や教職員研修について伺いたい。**市長** 薬物乱用防止教育は学校保健計画に位置づけられ、小学校では体育、中学校・高校では保健体育の時間はもとより、総合的な学習の時間、道徳なども活用しながら、学校教育全体を通じて指導を行うこととしている。さらに、

すべての中学校・高校において年1回の薬物乱用教室を行うこととなった。また、教職員への周知徹底はもとより、薬物乱用防止教育ビデオの活用やミニポスターの作成など、学校ごとに特徴ある取組を行っている。今後とも家庭と連携し、児童が薬物に絶対に手を出さない取組に努めていく。

コミュニティーの構築は

議員 公明党宮城県本部では、6月から8月にかけて4回目となる仮設住宅アンケート調査を行っている。今回の調査でも健康面での不安、見守り



伊保石ステーション仮設住宅

支援の強化を望む声や2割、近くに相談相手がない人が2割もいることがわかっていく。今後は、仮設住宅からの移転のめどが立たない方は、災害公営住宅の入居や自立再建の進展により取り残された感の精神的負担や、仮設住宅暮らしの長期化による先行き不安の増大などが心配される。今後の対応について伺いたい。**市長** 市では、ふれあいサポートセンターを設置し、仮設住宅入居者等の見守りや健康相談、生活相談を行うとともに、関係機関との連携のもと、きめ細かい支援を行ってきた。仮設住宅では、災害公営住宅への入居等により空き住戸が増加し、取り残され感や防犯上の不安が懸念されることから、よりきめ細かな相談体制や支援団体との連携によるコミュニティー維持の場の提供をしていきたい。具体的には、生きがいづくりを後押しするコミュニティー復興総合事業等を活用し、社会福祉協議会と連携し対応してまいりたい。

- ① ひとり暮らし・高齢者世帯への支援
- ② 除融雪対策 など



自由民主の会

阿部 かほる

地域経済対策は

議員 東北経済産業局が行った被災事業者の復興調査によると、売り上げが震災前の水準まで回復した事業者は全体で40%、水産・食品加工業19%、卸小売業・サービス業も31%と低水準である。市内の事業者も同様で、特に円安の進行で原材料を輸入品に頼る水産加工業は価格の高騰や既存顧客の喪失等、業績は低迷している。このような中、市は中小企業対策をどう考えるのか。支援策として水道を一定以上使用する事業者に対する軽減策も経済支援に有効と考えるが、見解を伺いたい。

市長 水産加工業への支援は、フード見本市やどっと祭への支援、販売会等の参加呼びかけ等、販路拡大に努めている。商業者への対策については、「2割増商品券事業」への補助や来年開催が予定されてい

る「みなと塩釜ゆめ博」に向け、事務局の商工会議所ともに取り組んでいく。また税制上の特例措置がある復興特区を設けるとともに、東日本大震災事業者再生支援機構を設立し支援に取り組んでいる。水道料金に係る中小企業への限定的な支援については、真摯に受け止めてまいりたい。

食によるまちの活性化策は

議員 市の魚食文化の発信元である仲卸市場は関係者の総意工夫によって改善が進み、利用者も増加傾向にあると考

る。一層の努力が求められ、仲卸市場の活性化には人口交流を盛んにする必要がある。先日、子育て支援の事業を企画した際、仙台市内の小学生親子40名をバスで仲卸市場に案内し、魚の話聞き、魚を食べ、お土産を仕入れ、大満足をいただいている。行政、関係者、市民がPRに努め、交流人口の増加を図ることが必要であるが、見解を伺う。

市長 仲卸市場の活性化については、この10月、同市場にキッチンスタジオがオープンし料理教室やイベントの開催等を行っており、今後も食文化の普及と発信に努めていく。「伊達な広域観光推進協議会」においては、歴史・文化・自然・食を織りまぜながら地域の魅力を楽しみ、体感いただくモデルルートをつくり首都圏等に誘致活動を展開しており、今後、新たな観光需要の発掘に結びつけてまいりたい。また来年、宮城で開催の観光夏キャンペーンにおいてもPRに努めていきたい。



塩釜水産物仲卸市場

その他の質問項目

- ① 史跡の取り組み
- ② 貞山運河再生復興ビジョンに対する市の対応 など

市政に対する一般質問



日本共産党 塩釜市議団

高橋 卓也

浦戸の防潮堤高は

議員 浦戸の皆さんから「防潮堤の高さの合意形成になる懇談会等が行われていない」との声が多く出されているが、この間、説明会は開かれているのか。また高さの1メートル引き下げを求める島民の総意をどのようにとらえ、市政運営に市民の意思の尊重をどのように位置づけているのか。

堤高を2・3メートルとする要望については、浦戸に住み続けていただく島民の方々の生命、財産を守るため3・3メートルの高さが必要であるとの説明を行っている。なお、地域の方々の生活環境を考え、漁業集落改善事業により宅地の嵩上げを行うなど理解いただけるよう努力していきたい。

地域コミュニティの課題は

議員 災害公営住宅にお住みになる方々と、現在お住まいの地域の方々ととのコミュニティをどのように構築するか伺いたい。

防潮堤建設における住民合意は必要不可欠である。2月の説明会は、単に行政が設定した防潮堤高や位置等を説明し了解を得るもので、合意は得ていないのではないかと。関係自治体、周辺住民、学識経験者からなる協議会を設置し、住民合意に向け適切な措置をとるべきと考えるがどうか。

市長 防潮堤高の説明会は、平成26年2月に開催後、地区ごとにも行なっている。浦戸振興協議会からの防潮



災害公営住宅(伊保石)

大きな公営住宅団地のよう
な、独自の町内会を形成する
までには至らない整備戸数の
災害公営住宅がほとんどであ
る。それは、既存の町内会に
包含されていくのであろうが、
その時に一体感が醸成される
仕組みを準備しておく必要が
ある。見解を伺いたい。

市長 市としては、町内会な
どの自治会組織がまずコミュ
ニティーの基本であるという
考えから、災害公営住宅の入
居者に対しても地域町内会へ
の加入、もしくは入居者によ
る新たな自治会組織の設立な
どを提案させていただき、地
域との良好な関係の構築を図
るための働きかけを行ってい
る。

伊保石地区災害公営住宅に
ついては、入居者のほとんど
が、地元町内会に加入される
など、入居者と地域との新た
なコミュニティが形成され
つつあるものと考えている。
今後も入居される皆様方の意
思を大切に組み込んでまいり
たい。



日本共産党
塩竈市議員
小野 絹子

加工団地の地盤 対策は

議員 加工団地組合の総会で

は地盤沈下問題について、平
成26年度の基本方針はKCみ
やぎ産学共同研究会「塩竈水
産地盤改良プロジェクト」と
して、復興大学塩竈市新浜地
区地盤沈下対策プロジェクト
リーダーの今西肇東北工業大
学教授を中心として取り組む
ほか、新たに日本材料学会、
地盤改良部門委員会の下に
「未改良既存埋立地の地盤沈
下対策研究会」が大学教授、
企業の専門家18名で発足、平
成26年4月から28年3月末ま
での活動期間で現状調査、埋
立地での課題抽出、将来に向
けて対策の提案を行うことが
述べられている。産学が力を
合わせて加工団地の地盤対策
に取り組んでいるが、行政の
対応について伺う。



塩竈市団地水産加工業協同組合

塩竈商工会議所から の要望の対応は

業で災害復旧に取り組んでい
る。民有地の対策は、市も加
工団地から調査結果をいただ
いており、内容を理解してい
る。本市も加工団地内の更地
を活用した「圧密先行荷重盛
土工法」に一定程度の効果が
発現していることから、今後
も引き続き、加工団地の方々
と相互に勉強させていただく。

議員 産業建設常任委員会は、
7月15日に塩竈商工会議所の
会頭をはじめ部会長の皆さん
と本格復興に向けた各業界の
現状と課題について意見交換



市民クラブ
菊地 進

重度障害者の 自立支援は

議員 塩竈市内に重度障害者
及び家族が安心してこの塩竈
で暮らすためには、多くの行
政の力が必要である。今回、
請願が出されているタクシー
券の基本料金の件、移動手段
のかなめであるガソリン券の
増額等のソフト面、そして通
所・宿泊施設等のハード面の
両面がそろって初めて福祉の
向上が図られるものである。

そのことが市長の初当選以来
の「日本で一番住みたいまち」
ではないかと考えるが、見解
を伺いたい。
市長 本市は障害者総合支援
法に基づき生活介護やショー
トステイなど全国で統一して
実施される障がい福祉サービ
スと、日常生活用具給付や訪
問入浴など市独自で行ってい
る地域生活支援事業によって
自立に向けた支援を行っている。
一方、市内の居宅介護事

その他の質問項目

- ① 健康寿命の向上策
- ② 「教育委員会制度改革」への
の考え、対応 など

その他の質問項目

- ① 子どもの医療費助成の拡充
と病児保育
- ② ベンチの設置 など

業所は新たな需要に應えるのが難しい状況にあり、重度訪問介護及びショートステイの事業所はそれぞれ1か所という現状である。今後は自立支援に向けた福祉サービスの提供を第4期障害福祉計画に反映させ、新たな事業所の参入を促し、既存サービス事業者との連携を図ってまいりたい。

まちの活気・元気は

議員 市民・住民の声と商業協同組合の人の声、商店経営者の声で2割増商品券の再発行を願う声が聞こえている。ある商店主がお客様の声とし



塩竈ニコニコ2割増商品券

て「客単価が7月・8月と上がった」と満足げに話されている。主婦の声として「2割増商品券は大変魅力的で家計に大助かりでした」との声が聞こえているが、市長はそのような市民の声を把握しておられるのか伺いたい。再度2割増商品券の発行を願うものであるが、市民のための施策として大変有効であることから、街の活気・元気対策として早急に実現いただきたいと考えるが、見解を伺いたい。

市長 市民の生活支援と市内商店の売上げ向上等を指す目的で、商工会議所において「塩竈ニコニコ2割増商品券事業」を実施し、市からは割増額と事務費分を補助している。この事業は商工会議所で実施したアンケートで高い評価をいただいている。

政府においては、割増商品券の発行を行う自治体に対し交付金を設ける緊急経済対策の動きがあるので、動向を注視し、できる限り取り組んでいけるよう検討していきたい。

- その他の質問項目
- ① 100円バスの拡充拡大
 - ② 通学路踏切の安全対策
 - ③ 定住問題と人口減少 など



市民クラブ
志子田 吉晃

観光行政は

議員 塩竈市にとって観光事業は、全体の産業のイメージアップにつながる重要な産業である。塩竈市では観光行政にどのような取り組みがなされているのか次の3点についてお聞きしたい。

- ① 全体的な観光への取り組み
- ② 市内の津波高の表示方法
- ③ 塩釜港入口の景観

市長 ①宮城デスティネーションキャンペーン事業への参画や、復興状況の発信、本市へ職員派遣している自治体への観光キャラバン活動を精力的に行なった。また、食のまち塩竈を県内外に強く印象づけるため、四季折々の食材を生かした食に関するイベントに力を入れてきた。今後は、仙台・宮城夏キャンペーンにおいて、本市の観光資源を最大限に生かしていく。②震災の記録を後世に残すため、千賀



震災モニュメント

の浦緑地の震災慰霊碑や宮町の四方跡公園に植樹した波分桜、主要施設での津波の高さを示す表示物が設置をされている。③塩釜港は、金属スクラップについても、貨物量の10%程度を扱っており、再資源資機材の取り扱ひも港の役割の重要な部分を果たすものと考えている。

浦戸架橋（生命の橋）は

議員 この件は、市民クラブからの要望や寒風沢住民からの要望書、並びに9月議会での決議として、当局に要望を重ねてきたが、取り組みの方

向性及び意向調査についてどのように進めていかれるのか伺いたい。

市長 9月定例会で議決された東松島市宮戸・浦戸寒風沢間架橋（命の橋）実現に向けての決議を踏まえ、東松島市長に協力をお願いしている。担当課でも東松島市を訪問し、架橋計画の検討の実務的な部分での情報交換、協議等について、正式に依頼した。さらに、架橋検討に不可欠である船舶航行の安全確保のための諸条件について、10月に国土交通省港湾局による港湾施設の技術上の基準について示された。

四島五地区全体の島民の皆様から11月19日に、浦戸振興推進協議会並びに浦戸架橋推進協議会より、各区長連名で架橋建設に当たっての浦戸の島内間の架橋の実現、構想の推進の趣旨の要望があり、まずは島内の意思統一が改めて必要であることから意向調査については、今後さまざまな機会に取り組んでいく。

- その他の質問項目
- ① 復興事業
 - ② 市道と関連施設の管理
 - ③ 市立病院事業 など

議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成
×：議案等に対して反対
／：議長は採決に加わりません

会議名	議案番号 件名	議員氏名	会派名													審議結果										
			公明党	自由民主党	日本共産党	市民クラブ	政策の会	さいせいクラブ	嶺岸淳一	浅野敏江	小野幸男	香取嗣雄	阿部かほる	西村勝男	小野絹子		伊勢由典	高橋卓也	曾我ミヨ	鎌田礼二	志賀勝利	菊地進	志子田吉晃	伊藤栄一	佐藤英治	田中徳寿
11月臨時会	承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（平成26年度塩竈市一般会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第83号	一般職の職員の給与に関する条例及び塩竈市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
12月定例会	議案第84号	塩竈市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第85号	塩竈市障害児通園事業施設条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第86号	塩竈市母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第87号	塩竈市地域包括支援センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第88号	塩竈市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第89号	塩竈市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第90号	塩竈市営住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第91号	塩竈市下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第92号	塩竈市立病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第93号	塩竈市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第94号	塩竈市地域包括支援センターの事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第95号	塩竈市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第96号	塩竈市新型インフルエンザ等対策本部条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第97号	平成26年度塩竈市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第98号	平成26年度塩竈市下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第99号	平成26年度塩竈市介護保険事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第100号	平成26年度塩竈市北浜地区復興土地区画整理事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第101号	平成26年度塩竈市藤倉地区復興土地区画整理事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第102号	工事請負契約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第103号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第104号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第105号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第106号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第107号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第108号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第109号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第110号	塩竈市スポーツ施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第111号	塩竈市と宮城県との間の災害等廃棄物処理の事務の委託の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第112号	宮城県市町村自治振興センター規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第7号	東日本大震災復旧・復興に係る事業期間延長を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第8号	生活再建に至らない東日本大震災被災者に対する医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免措置に対する財政支援を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

定例会傍聴のお知らせ

定例会は、年4回（2月・6月・9月・12月）開催されています。

本会議は、一般に公開され、どなたでも傍聴できます。傍聴をされる方は、市役所（本庁）四階の傍聴席へお気軽においでください。

なお、傍聴の際は、携帯電話をお持ちの方は、電源を切つてから入室をお願いいたします。

詳しくは、議会事務局まで。（電話 364-1214）

次回の定例会は
2月20日(金)
開会予定です

市議会会派構成

12月5日現在の会派構成（届け出順）は次のとおりです。（○は会派の代表者）

公明党（3名）
○ 嶺岸淳一 浅野敏江 小野幸男

自由民主党（3名）
○ 香取嗣雄 阿部かほる 西村勝男

日本共産党塩釜市議団（4名）
○ 小野絹子 伊勢由典 高橋卓也 曾我ミヨ

市民クラブ（5名）
○ 鎌田礼二 志賀勝利 菊地進 志子田吉晃 伊藤栄一

政策の会（1名）
○ 佐藤英治

さいせいクラブ（1名）
○ 田中徳寿

編集後記

市民の皆様新年おめでとうございます。新成人の方々には塩竈の新しい担い手として社会に勉学にご活躍をお祈り申し上げます。

本年は復興事業が正念場を迎えます。しあわせが実感できる街の復興に議会として取り組んでまいります。

今後ともよろしく願い申し上げます。

議会報編集委員会

委員長 阿部かほる
副委員長 伊勢由典
委員 浅野敏江
委員 志賀勝利